

指定管理者評価表

施設名	古代蓮の里
施設所管課	都市計画課

I プロセス評価

1 施設、設備の維持管理への取組み

評価項目	1次評価者（指定管理者）による評価		2次評価者（施設所管課）による評価	
	評価点	評価の理由/実績など	評価点	評価の理由
① 建物、施設設備等の保守点検は適切に行われていたか。	5	建物施設設備等の保守点検は適切に行った。令和5年度は41業務について業務委託を行った。そのうち10業務が法定点検であるが、年間計画している法定保守点検はもとより、利用者が安全安心かつ快適に利用できるよう、各種保守点検等の業務を自主的に行っている。保守点検結果報告書は委託契約実施報告書綴りへ分類して保管している。また、スタッフによる園内巡回点検を随時行っており、施設や設備の異常の有無を確認するとともに、日誌へ状況及び対処内容を記録して事業部内スタッフで情報の共有を図っている。	4	建物等施設設備の保守点検は適切に行っており、年間で計画している法定保守点検に加え、利用者が安全安心で快適に利用できるよう、自主的に各種保守点検等の業務を行っている。管理者による園内巡回点検も随時行っており、日誌等に対処内容などを記録し、部内職員で情報の共有を図っている。
② 清掃等快適な施設利用のための取組みがなされていたか。	5	快適な施設利用のための取組みを行った。営業日には清掃員を常駐させ日常的に清掃を行っている。年間12回全館清掃（7月は2回 床面へのワックス塗布を含む）、年間4回ガラス清掃（展望室の外側を含む）を実施している。また、園内トイレ清掃、園内ゴミ拾いを適宜行い、利用者が快適に過ごせるよう心がけている。利用者が安心して施設を利用できるよう、アルコールスプレーボトルを適宜配置している。	4	営業日には清掃員を常駐させ日常的に清掃を行っている。年間12回全館清掃、年間4回ガラス清掃を実施しており、快適な施設利用のための取組みを十分に行っている。
③ 修繕箇所の把握及び修繕は適切に行われていたか。	5	修繕箇所の把握及び修繕は適切に行った。巡回時もしくは各スタッフからの報告により、破損箇所の状態を把握して、自分たちで応急処置を施す、又は専門業者へ修繕を依頼している。重要度の高いものは即座に所管課へ報告するとともに、利用者への安全対策を講じている。指定管理者に区分される修繕は、法令順守の観点や利用者の安全安心、利便性や快適性を考慮して優先順位を定め、随時行っている。	4	遊具については、国の基準を熟知の上で日常点検が実施されている。修繕箇所についても、適宜確認や市への報告を行い、可能なものは自前で行うなどの経費削減の工夫も見受けられる。今後も適切な修繕対応するように徹底されたい。
④ 備品の管理状況は適切であったか。	4	備品の種類と設置場所を把握して、適宜機能点検を行い、利用者が安心して利用できる環境を整えている。市による備品検査の際は最大限協力している。	3	適切な備品管理と機材の使用に係る講習も受講しており、事故や破損も見受けられない。
⑤ 蓮の生育管理は適切であったか。	5	日々の水管理はもとより藻の除去、枯葉の撤去、果托の採取、レンコンの間引き、施肥など年間を通して管理しており、蓮の開花につなげている。しばらく開花しなかったバージニア蓮について、区画内の土壌を完全に入れ替え生育環境を改善させたことから区画内で開花させることができ、多くの来園者へ黄花蓮の存在をPRできた。これにより42種類すべての開花を実現した。また、他所での生育状況が悪いという話題について、何が原因だったのか状況等を精査して古代蓮の里の管理に役立てた。一例としてアメリカザリガニによる食害を突き止め、生態を研究して駆除するための方法を確立、多くの個体を駆除したことにより、生育状況は極めて良好だったことから、生育管理は適正であったと感じている。	5	水質検査をはじめ様々な分野において、日々こまめに観察や手入れがなされており、翌年の開花なども含め長期的な視点で生育に取り組んでいる。施肥や間引きのほか、開花状況が望ましくない場合は土壌の入れ替えを行うなど、品種や生育状況に見合った管理がされている。
		24	2次評価合計	20

2 サービス向上への取組み

評価項目	1次評価者（指定管理者）による評価		2次評価者（施設所管課）による評価	
	評価点	評価の理由/実績など	評価点	評価の理由
① 事業計画を作成し、その計画に沿って実施したか。	5	事業計画を作成しその計画に沿って実施している。年度当初の事業計画には36事業を計画したが、回数を増やしたり追加の事業を企画して41事業を実施した。参加人数について、多くの事業で計画値を上回ったが、小規模の人数で実施する講座などで定員割れが発生した。結果、トータル参加者数は計画値を大幅に上回ることとなった。計画人数14,575人に対して参加人数232,667人であった。	4	事業計画を作成しその計画に沿って実施している。年度当初の事業計画より回数を増やしたり追加の事業を企画し実施した。参加人数については、計画値を上回ったが、小規模の人数で実施する講座などで定員割れが発生した。トータルの参加者数は計画値を大幅に上回ることとなった。

指定管理者評価表

②	市民及びNPO等と連携・協働し、施設を活用していたか。	5 市民及びNPO等と連携・協働し、施設を活用している。 ①（一社）行田市おもてなし観光局と連携し観光客誘致に努めている。②うどん店運営業務において、地元協力団体である太田うどん協会から人員の協力をいただいている。③売店の運営において市内の農家及び商店約100軒が出店者となり特産物の販売を通じて市内の産業振興に寄与している。④売店登録業者にNPO法人を加え、活動の場を与えた。⑤会館内で実施した子供向けイベントにおいてNPO法人と協働してイベントを盛り上げた。⑥花蓮の愛好家を集めた古代蓮の里友の会を組織し自主的な清掃活動や作品展示を行い古代蓮の里の魅力の醸成に寄与している。⑦地元出身者や地域で活躍しているアーティストによるコンサートを開催し来園者に楽しんでいただいている。⑧行田市美術家協会と連携して会員作品展を会館催事室で開催している。⑨地元で唯一の大学であるものづくり大学からインターンシップ学生を、⑩市内各中学校から職場体験学習を受け入れ、学校活動へ貢献している。⑪花壇整備や⑫フラワーアート事業において、地元花卉園芸組合から花苗を購入するなど事業で利用した。⑬市内にあるテクノ・ホルティ園芸専門学校の授業の一環で、室内装飾作品展示場所として古代蓮会館内を提供し季節に合った装飾を行っていただいた。	4 行田おもてなし観光局との連携をはじめ、売店やうどん店における地元事業者との連携や、休憩スペースでのコンサート実施、フラワーアートについても多くの関係者との協働により行われている。 また、古代蓮の里の運営や事業に参画いただける方々と友の会などを組織し、様々な点に役立てている。
③	適切に職員が配置されていたか。	5 適切に職員を配置した。 ①利用者が安心して施設を利用できるよう、営業中はプロパー職員を配置している。②混雑を予測して適正な人員配置を考えたシフトで勤務している。③イベントに応じて早朝や夜間の対応を行っている。④売店うどん店の運営に必要な食品衛生責任者を配置している。⑤園内作業員には刈払機及びチェーンソー安全教育講習を順番で受講させて作業中の安全確保に努めている。	3 公園作業員も適切に配置されており、造園管理や遊具点検、作業講習等を定期的を受講している。売店等のプロパー職員においては食品衛生に関する講習なども受講しており、配置も混雑状況を予測したシフトを組んでいるほか、必要に応じて指定管理者の正規職員がヘルプに入るなど、園内全体の人員配置を有効活用している。
④	窓口等での接客態度は、利用者に不快な思いをさせることなく、適切であったか。	4 不快な思いをさせる接客はしていない。 スタッフ研修の際、マニュアルによる接客研修を実施している。	3 接客について、毎年度研修を自主的に行っており、苦情等も無かった。
⑤	利用者の意見、苦情、要望等を抽出するための仕組み作りがされていたか。	4 利用者の意見、苦情、要望等を抽出するための仕組みづくりを行った。 ①お客様の声という目安箱を置き、誰でも自由に意見を言えるような体制を整えている。②ホームページ内に問い合わせページを用意している。必要事項を簡単に記入できる投稿フォームとなっている。③目安箱問い合わせフォーム双方ともに匿名でも受け、気軽に意見を言える状態にある。	3 施設へ意見箱を設置するほか、ホームページなどを活用して意見収集が行われている。 寄せられた意見は月次報告に合わせて市へも報告をいただいているほか、市と指定管理者で毎月行う打合せにおいて、必要に応じ協議している。
⑥	意見、苦情、要望等への対応や問題解決に向けた体制が構築されていたか。	4 いただいた意見は事業部内で回覧し、職員間で情報共有を図るとともに、解決策を検討して対応している。これらの意見は、所管課へ毎月提出する利用状況報告書へも掲載して所管課との情報共有も図っている。	3 接客研修、定期的な園内巡回を通じたニーズの把握などに努めており、指定管理者において職員間での情報共有も行われている。
⑦	職員間において情報共有が頻繁に行われる体制が構築されていたか。	5 職員間における情報共有が頻繁に行われる体制である。 事業部内の職員間で常時報告連絡相談の体制は整っている。その場になかった職員には勤務日誌等で知らせる体制ができている。	3 口頭や書面による報連相が行われており、個々の事案について複数の職員が共有している。
⑧	職員の資質向上に向けた取組みが行われていたか。	4 各種研修を積極的に受講し自己の研鑽に努めている。 令和5年度の実績として、スタッフ研修、接客研修、心肺蘇生訓練、エレベーター緊急対応訓練などの全スタッフが受ける研修のほか、食品衛生責任者養成や刈払機及びチェーンソー安全教育などの講習を受講し安心安全な公園管理を目指している。	3 食品衛生責任者養成、作業等に関する講習を受講しており、施設管理者として必要不可欠な人命救助、安全管理訓練も実施している。

指定管理者評価表

⑨	創意工夫による事業を立案し、計画的かつ適切に実施できたか。	5	創意工夫による事業を立案、実施した。 蓮の公園であることを強みとして、蓮の実を使ったアクセサリー教室、蓮の育て方講座、親子で学ぼう古代蓮講座、蓮シャワー体験など、珍しい講座を開設している。また、参加型の親子釣り体験教室や、グルメイベント、フリーマーケット、グリーンコーディネート&ハンギングバスケット展など、訪れた人が楽しめるイベントを開催した。	3	物販や催しなど、蓮に特化した事業を展開しているが、さらに施設の特性を最大限に活かした取組みの実施を期待する。
⑩	利用者の利便性向上に向けた取組みが行われていたか。	5	利用者の利便性向上に向けた取組みを行った。 ①展望室から見える景色の撮影条件を良くするため、ガラスへの映り込みを軽減する器具を設置した。②園内施設への手すりの増設や段差の解消などに努めた。③自販機の不具合については、保守業者へ迅速に連絡して早期解決に努めた。④お客様の要望が多岐にわたる場合であっても一つずつ詳しく話を聞き、可能であればこちらから関係各所へ問い合わせるなどサービスの向上に努めた。	4	展望室への穴あきレフの設置や、園内施設への手すりの増設や段差の解消など、利用者目線からの工夫がされている。 また、要望に対して可能な限り実現できるようにサービス向上に努めている。
⑪	利用者の利用促進に向けた取組みが行われていたか。	5	利用者の利用促進に向けた取組みを行った。 ①GW、夏休み期間、ロウバイや梅の開花シーズンにおける子供向けスタンプラリーの実施。②蓮の里オリジナル商品として果托や種を使った商品の製作。③イルミネーション、④プロジェクションマッピング、⑤ミニコンサート、⑥フラワーアート&LEDアート、⑦各種入館割引、⑧雑誌への有料広告掲載、⑨SNS動画を使った蓮の里での様々な紹介など。	4	スタンプラリーの実施や蓮の里オリジナル商品として果托や種を使った商品の製作を行っている。 また、フラワーアートやロウバイまつり、迎春企画など、閑散期における集客対策も実施されている。
⑫	広報、PR等について十分な取組みが行われていたか。	4	広報、PR等について十分な取組みを行った。 ホームページの開設、SNSを活用した情報発信、メディア取材への協力、テレビ局による定点カメラの設置への全面協力、各種雑誌への有料広告の掲載等幅広く取り組んでいる。リーフレットについて、小ロットで注文できる業者へ依頼する事で大量の在庫を抱えることなく、変更箇所があればすぐに対応できるようにしている。	4	ホームページの開設やSNSの活用など利用者が必要とする情報発信を行っている。 また、雑誌の有料広告の掲載、テレビ局の定点カメラ設置にも全面協力している。
⑬	利用者アンケートを実施したか。	5	お客様の声という形で実施した。 令和5年度の実績として、324件の声が集まった。その中で要望意見が23件、うち実現可能な意見が14件であり、全て対応済みである。	3	施設利用者の方々に対して実施を行った。
⑭	利用者の意見を反映させる取組みがなされたか。	4	利用者の意見を反映させる取組みは行った。 お客様の声は職員間で回覧して、どのような意図なのかを話し合い、適切な解決方法を模索している。	3	施設利用者の意見を反映できるよう、職員間で話し合い、解決に向けた取り組みを検討している。
⑮	(複数の施設を管理している場合) 施設間及び市の施設所管課等と密に連絡を取っていたか。	4	密に連絡を取り合っている。 財団内部では、月に一度3事業部が一堂に会し、実績発表や問題点の共有を図っている。所管課とは月に一度会合を持ち、報告事項や依頼事項などを話し合っている。	3	毎月打合せを実施しており、報告事項や情報共有などを漏れなく実施している。 併せて、共有すべき問題についても解決策を模索している。
⑯	催しの企画などを通じた魅力アップに努めていたか。	5	①館内でのミニコンサート開催、②クリスマスシーズンに向けたイルミネーション展示と夜間オープン、③迎春企画の元旦早朝開館、④青梅狩り体験、⑤蓮シャワーづくり体験、⑥ロウバイ梅桜をPRするためのイベント、⑦タワーから見下ろすフラワーアート&LEDアート、⑧館内で行うプロジェクションマッピングなどを行い魅力アップに努めている。	3	施設利用者の方々に定着しつつある催しを企画・実施している。 フラワーアートの実施にあたっては、市内花き農家の応援と施設の魅力アップとの相乗効果が図られている。

73

2次評価者合計

53

指定管理者評価表

3 平等、安全対策への取組み				
評価項目	1次評価者（指定管理者）による評価		2次評価者（施設所管課）による評価	
	評価点	評価の理由/実績など	評価点	評価の理由
① 関係法令（地方自治法、労働関係法令、条例等）が遵守されていたか。	4	遵守している。	3	遵守している。
② 対応する職員によってサービスの質に差が生じていなかったか。	5	生じていない。 案内する項目や接遇をマニュアル化して、サービスの質の均一化を図っている。	3	業務内容をマニュアル化し、職員によっての対応に差はなかった。
③ 個人情報の保護について職員が理解し、さらにその取組みがなされていたか。	4	財団の個人情報保護規定に基づき適正に取り扱っている。	3	指定管理者独自の個人情報に関する規程を定め、それに準じた対応をしている。 情報公開についても適切に対応している。
④ 施設の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	4	安全対策は適切に実施した。 令和5年度の実績として①古代運會館園内放送設備修繕290,237円、②會館浄化槽ポンプ交換調整187,000円、③A棟男子トイレ個室ドア部品交換調整47,300円、④うどん店麺蓋給水ノリルブ交換16,500円ほか	3	園内の点検や巡回を定期的に行い、修繕や応急措置なども適切に行われている。
⑤ 防犯、防災対策は適切にされているか。	4	防犯、防災対策は適切である。 ①地元警察署と連携してパトカーが園内を巡回するよう依頼、②緊急時対応マニュアルを備えている。③避難訓練を実施している。④指定管理者保険に加入し、利用者に対する賠償責任に対処している。	4	防犯対策として、各所への注意喚起掲示や警備会社を通じた夜間警備、警察へのパトロール依頼、園内各所へ監視カメラを設置している。 防災対策としては園内の樹木を定期的に確認しており、台風接近時には危険物の確認、撤去をあらかじめ行い、直ちに市へ対策内容や被害状況の報告がされている。
⑥ 利用者が平等に利用できる取組みがなされていたか。	4	条例、規則に則った対応をすることで平等に取り組んでいる。	3	基準に基づき、公平な対応を徹底している。
⑦ 事故または災害発生時の対応体制が構築されていたか。	4	①地震や火災等緊急時に対応できるようマニュアル化している。②各施設間内線電話を備えており、スタッフの緊急連絡網を整備している。	3	災害発生時におけるマニュアルを指定管理者が整備し、適切な対応がされており、市への報告も遅滞なく行われている。
⑧ 感染症対策が適切に講じられているか。	4	建物内の換気や消毒用アルコールの配置、インフルエンザ注意喚起や咳エチケットの壁面掲示物で注意を促している。	3	建物内の換気や消毒用アルコールの配置、インフルエンザ等の注意喚起や咳エチケットの壁面掲示物により注意喚起している。
⑨ 地域や関係団体等との連携が図られていたか。	5	図られていた。 ①（一社）行田市おもてなし観光局と連携し観光客誘致に努めた。②うどん店運営業務において、地元協力団体である太田うどん協会から人員の協力をいただいた。③売店の運営において市内の農家及び商店約100軒が出店者となり特産物の販売を通じて市内の産業振興に寄与している。④売店登録業者にNPO法人を加え、活動の場を与えた。⑤會館内で実施した子供向けイベントにおいてNPO法人と協働してイベントを盛り上げた。⑥花蓮の愛好家を集めた古代蓮の里友の会を組織し自主的な清掃活動や作品展示を行い古代蓮の里の魅力の醸成に寄与している。⑦地元出身者や地域で活躍しているアーティストによるコンサートを開催し来園者に楽しんでいただいている。⑧行田市美術家協会と連携して会員作品展を會館催事室で開催している。⑨地元で唯一の大学であるものづくり大学からインターンシップ学生を、⑩市内各中学校から職場体験学習を受け入れ、学校活動へ貢献している。⑪花壇整備や⑫フラワーアート事業において、地元花卉園芸組合から花苗を購入するなど事業で利用した。⑬市内にあるテクノ・ホルティ園芸専門学校の授業の一環で、室内装飾作品展示場所として古代運會館内を提供し季節に合った装飾を行っていただいた。	4	おもてなし観光局や地元協力団体と連携が図られていた。 売店への地元事業者の出店や田んぼアート協議会への全面協力などに対しても十分な連携が図られている。
	38		2次評価者合計	29

指定管理者評価表

4 効率性向上、改善に向けた取り組み				
評価項目	1次評価者（指定管理者）による評価		2次評価者（施設所管課）による評価	
	評価点	評価の理由/実績など	評価点	評価の理由
① 問題点の把握に努めていたか。	4	お客様の声から得た意見を参考に、利用者がどのようなことをして欲しいのか、要求の把握に努めている。	3	アンケートの内容について随時検討を行うとともに、必要に応じて市と協議している。
② 新たな取り組みへの提案、改善意欲が見られていたか。	5	令和5年度では、新規事業として①親子で学ぼう！古代蓮講座（蓮の魅力に関する講話と蓮シャワー体験）、②フリーマーケット、③コスプレイベント誘致、④パークイベントコンサート（秋と春に2回ずつ）、⑤サンセット&夜景観賞会（1月中旬から2月下旬の土日祝日の夜間オープン）の⑤事業を実施した。また、計画には無かった追加事業として、①県民の色彩り感謝デー、②翔んで埼玉応援イベント（8つの内容）、③展望室から見える山々の写真展、④RVパークの開設、⑤飲食物販売促進（キッチンカーの誘致）の⑤事業を実施した。	3	古代蓮講座やフリーマーケット等、各種事業を開始したほか、計画になかった翔んで埼玉応援イベントやRVパークの開設等の事業も実施した。
③ 収入を増加するための具体的な取り組みが行われたか。	4	常に行っている。蓮の素材を使ったオリジナル商品の開発、露店出店の奨励、うどん店での魅力あるメニューの提供、リピーター確保に向けたイベントの実施等の取り組みを行った。	3	商品開発をはじめ出店の奨励などに取り組んでいるほか、指定管理者自らが飲食店営業許可を取得して催しを実施するなどの取り組みが見受けられた。
④ 経費の効率的・効果的な執行がなされたか。	4	令和5年度の予算額133,699,683円に対して決算額は132,485,587円、1,214,096円の減で99.1%の執行率だった。映画翔んで埼玉関連の様々な事業への対応など、効果的な執行がなされたと感じている。	4	適切に予算執行されているほか、修繕実施などの際にも可能なものは自前で修繕を行うなどによりコスト削減に努めている。
⑤ 清掃、警備、保守点検等の再委託業務がある場合、それらが適正な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。	4	仕様書を見直し、頻度を変更するなど一定の水準を維持しながら経費が最小限となるよう調整している。特に清掃は混雑時期を見極め、細かい回数設定をすることにより、なるべく清潔な状態が保てるよう工夫している。再委託に対しては所管課の承認を得ている。	3	清掃業務の内容を見極めた中で、時期ごとの清掃頻度を再編成するなど、効率化に努めている。
⑥ 環境に配慮した取り組みがなされていたか。	4	利用者のいない時間や使用していない場所の照明は消灯するなど節電に努めている。また、清掃業者に依頼してゴミの分別を図り環境に配慮した取り組みをしている。空き缶空き瓶については自販機設置業者が持ち帰ることとなっている。	3	節電対策やごみの分別などは適切に行われている。
	25		19	2次評価者合計

指定管理者評価表

II 結果、成果評価

原則として、指定管理期間の初年度に設定した項目は変更できないものとします。

関連する評価項目	評価する分野	指標名	1次評価者（指定管理者）による評価							2次評価者（施設所管課）による評価	
			評価点	目標値/実績/増減の理由など					評価点	評価の理由	
				R3	R4	R5	R6	R7			
2-④ 2-⑥ 2-⑧ 2-⑩ 2-⑫	利用者満足度の向上	アンケート結果で「満足している」と答えた人の割合	5	目標 80	80	85	90	95	5	当初設定した目標は達成しているが、今後もさらに利用者の満足度を向上させる取組みの拡充に努めてもらいたい。	
			実績 84	95	88						
			理由 目標値を達成しているため								
2-⑨ 2-⑩ 2-⑬	入館者数の増加	古代運會館入館者数	5	目標 100,000	120,000	126,000	132,000	138,000	5	開始当初に設定した目標は達成したとはいえ、コロナ禍後であり、さらに映画による特需も見込んでいた観点から見ると、現状では決して満足できる結果ではない。令和6年度以降は、単に目標を上方修正するだけでなく、より創造性と工夫を凝らした戦略を求める。課題の解決と目標達成のためにより厳格な姿勢で取り組むことを強く求む。	
			実績 100,732	93,818	130,084						
			理由 指定管理申請の内容に則った目標値を達成しているため								
	売店売上の増加	売店売上額	4	目標 66,000,000	80,000,000	84,000,000	88,000,000	92,000,000	4	目標に対して、達成度90%であるが、コロナ禍後であり、さらに映画による特需も見込んでいた観点から見ると、現状では決して満足できる結果ではない。令和6年度以降は、単に目標を上方修正するだけでなく、より創造性と工夫を凝らした戦略を求める。課題の解決と目標達成のためにより厳格な姿勢で取り組むことを強く求む。	
			実績 72,586,414	70,311,100	77,009,250						
			理由 指定管理申請の内容に則った目標値は下回っているものの、前年比10%アップと回復できたため								
	うどん店売上の増加	うどん店売上額	5	目標 9,500,000	11,000,000	11,400,000	11,800,000	12,200,000	5	開始当初に設定した目標は達成したとはいえ、コロナ禍後であり、さらに映画による特需も見込んでいた観点から見ると、現状では決して満足できる結果ではない。令和6年度以降は、単に目標を上方修正するだけでなく、より創造性と工夫を凝らした戦略を求める。課題の解決と目標達成のためにより厳格な姿勢で取り組むことを強く求む。	
			実績 10,899,150	10,576,550	12,348,650						
			理由 指定管理申請の内容に則った目標値を満足しているため								
				目標							
				実績							
				理由							
				目標							
				実績							
				理由							
			19	2次評価者合計					19		

2次評価者からの指導事項	<p>他者との連携、利用者目線での運営、運の生育をはじめとした施設管理や修繕などへの工夫などにおいて積極性が見受けられる。</p> <p>これらの点については今後とも研究・実施を継続していただき、適切かつ魅力的な施設運営に努めていただきたい。</p>
--------------	---

1次評価者の総合評価		2次評価者の総合評価		▶	100点換算	総合評価
合格点	179	合計点	140		70.0	B
満点	200	満点	200			

I プロセス評価

仕様書や提案（業務計画）の内容に照らし合わせて	特に優れていると認められる	5点
	優れていると認められる	4点
	適正であると認められる	3点
	努力が必要と認められる	2点
	改善すべき点が認められる	1点

II

各年度の目標数値を基準として	達成度100%以上	5点
	達成度90%以上100%未満	4点
	達成度70%以上90%未満	3点
	達成度50%以上70%未満	2点
	達成度50%未満	1点

※指標がネガティブなもの（例：「事故発生件数」、「苦情発生件数」など）は達成度が低いほど点数が高くなります。

総合評価基準

100点換算で80点以上	A
100点換算で60点以上80点未満	B
100点換算で60点未満	C